

各 位

株式会社 みなと銀行

みらい地域応援ローン『スクラム2018』-CLOがソーシャルボンド評価を取得
～地域とともにSDGsの達成を目指してまいります～

関西みらいフィナンシャルグループの みなと銀行（頭取 服部 博明）が取り扱う掲題融資商品について、このたび、連携して商品を組成する日本政策金融公庫の中小企業向け貸付債権シンセティックCLOが日本格付研究所のソーシャルボンド評価『Social 1』を取得し、SDGsの観点からも高い評価を得ましたので、お知らせいたします。

（評価点：SDGs目標8「働きがいも経済成長も」、ターゲット8.3「希望を生み出す強い経済」）

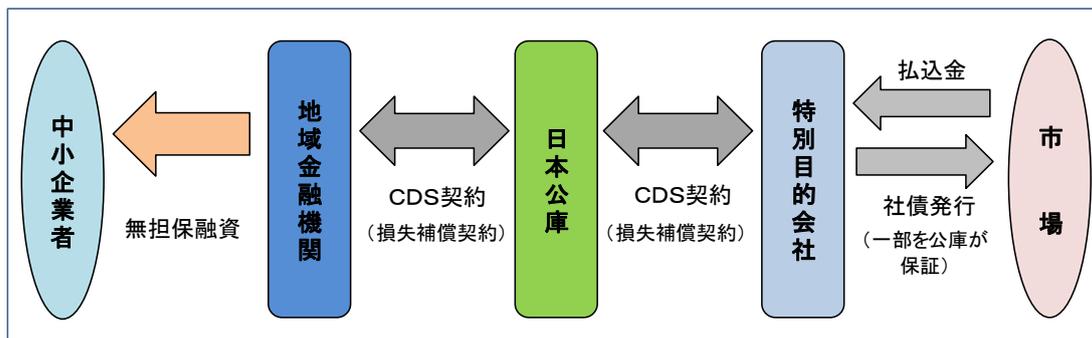
2016年から取り扱いを始めた当ローンは、CLO（貸付債権を証券化）を活用したスキームから、担保に頼らず、スピーディーな融資実行が可能な点に特徴があります。このため、取扱い開始直後から、多くの地域のお客さま（中小企業など）にご利用を頂き、当行の過去2年の取扱額は、同種商品を取り扱う全国の参加地域金融機関（昨年は25金融機関）の中で最大となりました。

これまで、地域のお客さまへは、当ローンを「資金調達手段の多様化の観点」等からご案内してまいりましたが、今回、当CLOがソーシャルボンド評価『Social 1』の取得を受けたことから、今後は、「SDGsの観点」からも幅広くご案内し、地域の方々とともにSDGsの達成を目指してまいります。

（当行の取組みは裏面コミットメント「地域経済の活性化」（1-2）に相当）



■ 『スクラム2018』のスキーム図



以 上

SDGsとは? Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

参考：【2030年SDGs達成に向けたコミットメント（関西みらい Sustainability Challenge 2030）】

カテゴリー	テーマ	コミットメント
地域	地域経済の活性化 	1-1 環境・社会課題をテーマとした建設的な対話等により、お客さまとともに持続可能な社会の実現を目指します 1-2 地域の中小企業や個人のお客さまのライフステージにおいて、金融・情報仲介機能や先進的金融サービス等を提供し、地域経済の活性化、社会や暮らしの利便性向上に貢献します
少子高齢化	少子高齢化に起因する将来不安の解消、次世代支援 	2-1 金融コンサルティング、金融経済教育等の金融リテラシー向上の取り組みを通じて、将来に向けた資産の形成、承継をサポートし、生涯にわたる生活の質の向上に貢献します
環境	地球温暖化・自然環境汚染への対応 	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指します ・自然環境や生物多様性を保全する地域活動の輪に参加し、まちの魅力向上に貢献します
人権	ダイバーシティ&インクルージョン 	4-1 人権や多様性を尊重し、誰もが仕事も生活も充実させ自分らしく活躍できる社会づくりに貢献します